

平成30年度 第26回四国高等学校バスケットボール新人選手権大会予選リーグ

男子:愛媛県総合運動公園体育館

A組

勝敗	1 徳島1位	2 高知1位	3 香川2位	4 愛媛2位	順位
得点	海 部	高知中央	高松商業	松山工業	
1 徳島1位 海 部		×	×	○	3
		57	67	74	
2 高知1位 高知中央	○		○	○	1
	78		92	92	
3 香川2位 高松商業	○	×		×	4
	69	53		53	
4 愛媛2位 松山工業	×	×	○		2
	60	79	85		

2位、3位、4位は当該チーム間の得失点差により決定

B組

勝敗	5 愛媛1位	6 香川1位	7 高知2位	8 徳島2位	順位
得点	新 田	尽誠学園	高知工業	徳島市立	
5 愛媛1位 新 田		×	○	○	2
		61	109	74	
6 香川1位 尽誠学園	○		○	○	1
	68		93	90	
7 高知2位 高知工業	×	×		×	4
	33	44		39	
8 徳島2位 徳島市立	×	×	○		3
	50	53	91		

女子:伊予市民体育館

C組

勝敗	1 徳島1位	2 香川1位	3 高知2位	4 愛媛2位	順位
得点	富岡東	高 瀬	岡 豊	済 美	
1 徳島1位 富岡東		○	○	×	2
		58	77	55	
2 香川1位 高 瀬	×		○	×	3
	50		71	49	
3 高知2位 岡 豊	×	×		×	4
	61	65		50	
4 愛媛2位 済 美	○	○	○		1
	93	91	73		

D組

勝敗	5 愛媛1位	6 高知1位	7 徳島2位	8 香川2位	順位
得点	聖力学園	高知中央	城 北	高松南	
5 愛媛1位 聖力学園		○	○	○	1
		73	101	80	
6 高知1位 高知中央	×		○	○	2
	56		110	122	
7 徳島2位 城 北	×	×		○	3
	50	51		73	
8 香川2位 高松南	×	×	×		4
	45	78	66		

平成30年度 第26回四国高等学校バスケットボール新人選手権大会

男子:愛媛県総合運動公園体育館

2月9日(土)

Aコート				ランク	Bコート					
1 海部 高校 [徳島1位]	74	19 - 10 18 - 13 22 - 19 15 - 18	60	4 松山工業 高校 [愛媛2位]	予選 1 11:00	2 高知中央 高校 [高知1位]	92	24 - 11 18 - 20 27 - 9 23 - 13	53	3 高松商業 高校 [香川2位]
5 新田 高校 [愛媛1位]	74	20 - 10 20 - 11 20 - 7 14 - 22	50	8 徳島市立 高校 [徳島2位]	予選 2 12:40	6 尽誠学園 高校 [香川1位]	93	24 - 12 29 - 10 19 - 13 21 - 9	44	7 高知工業 高校 [高知2位]
3 高松商業 高校 [香川2位]	69	22 - 17 14 - 12 14 - 17 19 - 21	67	1 海部 高校 [徳島1位]	予選 3 14:20	4 松山工業 高校 [愛媛2位]	79	22 - 23 18 - 17 23 - 19 16 - 33	92	2 高知中央 高校 [高知1位]
7 高知工業 高校 [高知2位]	33	10 - 25 13 - 22 8 - 32 2 - 30	109	5 新田 高校 [愛媛1位]	予選 4 16:00	8 徳島市立 高校 [徳島2位]	53	13 - 27 6 - 27 16 - 15 18 - 21	90	6 尽誠学園 高校 [香川1位]

女子:伊予市民体育館

2月9日(土)

Cコート				ランク	Dコート					
1 富岡東 高校 [徳島1位]	55	12 - 21 13 - 31 10 - 16 20 - 25	93	4 済美 高校 [愛媛2位]	予選 1 11:00	2 高瀬 高校 [香川1位]	71	27 - 12 4 - 20 24 - 15 16 - 18	65	3 岡豊 高校 [高知2位]
5 聖力学園 高校 [愛媛1位]	80	26 - 4 17 - 17 16 - 10 21 - 14	45	8 高松南 高校 [香川2位]	予選 2 12:40	6 高知中央 高校 [高知1位]	110	29 - 8 26 - 14 28 - 12 27 - 17	51	7 城北 高校 [徳島2位]
3 岡豊 高校 [高知2位]	61	13 - 26 17 - 17 19 - 13 12 - 21	77	1 富岡東 高校 [徳島1位]	予選 3 14:20	4 済美 高校 [愛媛2位]	91	24 - 15 25 - 14 25 - 6 17 - 14	49	2 高瀬 高校 [香川1位]
7 城北 高校 [徳島2位]	50	20 - 19 7 - 21 8 - 22 15 - 39	101	5 聖力学園 高校 [愛媛1位]	予選 4 16:00	8 高松南 高校 [香川2位]	78	24 - 29 4 - 27 21 - 32 29 - 34	122	6 高知中央 高校 [高知1位]

男子:愛媛県総合運動公園体育館

2月10日(日)

Aコート				ランク	Bコート					
3 高松商業 高校 [香川2位]	53	16 - 19 8 - 9 19 - 26 10 - 31 -	85	4 松山工業 高校 [愛媛2位]	予選 5 9:00	7 高知工業 高校 [高知2位]	39	13 - 21 6 - 22 10 - 26 10 - 22 -	91	8 徳島市立 高校 [徳島2位]
1 海部 高校 [徳島1位]	57	11 - 25 10 - 22 15 - 19 21 - 12 -	78	2 高知中央 高校 [高知1位]	予選 6 10:40	5 新田 高校 [愛媛1位]	61	7 - 12 18 - 16 8 - 16 28 - 24 -	68	6 尽誠学園 高校 [香川1位]
A組3位 海部 高校	82	24 - 20 23 - 20 20 - 23 15 - 17 -	80	B組3位 徳島市立 高校	順位 決定 戦 1 12:20	A組4位 高松商業 高校	80	20 - 15 13 - 19 26 - 17 21 - 21 -	72	B組4位 高知工業 高校
A組1位 高知中央 高校	78	26 - 21 13 - 18 12 - 7 27 - 17 -	63	B組1位 尽誠学園 高校	順位 決定 戦 2 14:00	A組2位 松山工業 高校	66	19 - 17 10 - 22 14 - 23 23 - 19 -	81	B組2位 新田 高校

女子:伊予市民体育館

2月10日(日)

Cコート				ランク	Dコート					
3 岡豊 高校 [高知2位]	50	8 - 29 18 - 14 14 - 12 10 - 18 -	73	4 済美 高校 [愛媛2位]	予選 5 9:00	7 城北 高校 [徳島2位]	73	21 - 16 17 - 23 18 - 16 17 - 11 -	66	8 高松南 高校 [香川2位]
1 富岡東 高校 [徳島1位]	58	17 - 14 14 - 15 17 - 13 10 - 8 -	50	2 高瀬 高校 [香川1位]	予選 6 10:40	5 聖カトリック 高校 [愛媛1位]	73	23 - 23 15 - 7 18 - 14 17 - 12 -	56	6 高知中央 高校 [高知1位]
C組3位 高瀬 高校	60	16 - 13 19 - 22 14 - 13 11 - 10 -	58	D組3位 城北 高校	順位 決定 戦 1 12:20	C組4位 岡豊 高校	102	29 - 6 24 - 11 30 - 21 19 - 28 -	66	D組4位 高松南 高校
C組1位 済美 高校	88	23 - 12 30 - 20 22 - 21 13 - 21 -	74	D組1位 聖カトリック 高校	順位 決定 戦 2 14:00	C組2位 富岡東 高校	79	5 - 32 24 - 35 27 - 24 23 - 20 -	111	D組2位 高知中央 高校

【男子順位】1位:高知中央(高知1位) 2位:尽誠学園(香川1位) 3位:新田(愛媛1位) 4位:松山工業(愛媛2位)
5位:海部(徳島1位) 6位:徳島市立(徳島2位) 7位:高松商業(香川2位) 8位:高知工業(高知2位)

◆高知中央高校(高知1位)、2年連続2回目の優勝

【女子順位】1位:済美(愛媛2位) 2位:聖カトリック学園(愛媛1位) 3位:高知中央(高知1位) 4位:富岡東(徳島2位)
5位:高瀬(香川1位) 6位:城北(徳島2位) 7位:岡豊(高知2位) 8位:高松南(香川2位)

◆済美高校(愛媛2位)、初優勝

大会名称: 平成30年度
第26回四国高等学校バスケットボール新人選手権大会

開催場所: 愛媛県総合運動公園体育館 Aコート

試合区分: No. 1 男子 順位決定戦

期 日: 2019(H31)年2月10日(日)

主審: 谷 隆正

開始時間: 14:00

第1副審: 若山 輝紀

終了時間: 15:30

第2副審: 長谷川悠貴

<h1>高知中央</h1> <p>(高知県)</p>	<p>○</p> <h1>78</h1>	<p>26 — 21 13 — 18 12 — 7 27 — 17 — — —</p>	<p>●</p> <h1>63</h1>	<h1>尽誠学園</h1> <p>(香川県)</p>
----------------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	平山 翔太	17	2	4	3	3
5	*	岡村 直哉	12	0	5	2	2
6	*	下野 雅斗	11	0	5	1	2
7		川崎 紫龍	2	0	1	0	3
8		山本 崇人	0	0	0	0	0
9		早川 翔弥	0	0	0	0	1
10	*	増井 勇輝翔	0	0	0	0	0
11		岩崎 竜征	0	0	0	0	0
12		多賀 怜史	—	—	—	—	—
13		池亀 航生	—	—	—	—	—
14		武内 尋	0	0	0	0	0
15	*	ADEOLA SEUN ADELOLA	36	0	16	4	3
16		大野 悠弥	0	0	0	0	0
17		立山 透夢	—	—	—	—	—
18		宮崎 純	0	0	0	0	0
HC		瀬田 幸穂 / TEAM					—
		合計	78	2	31	10	14

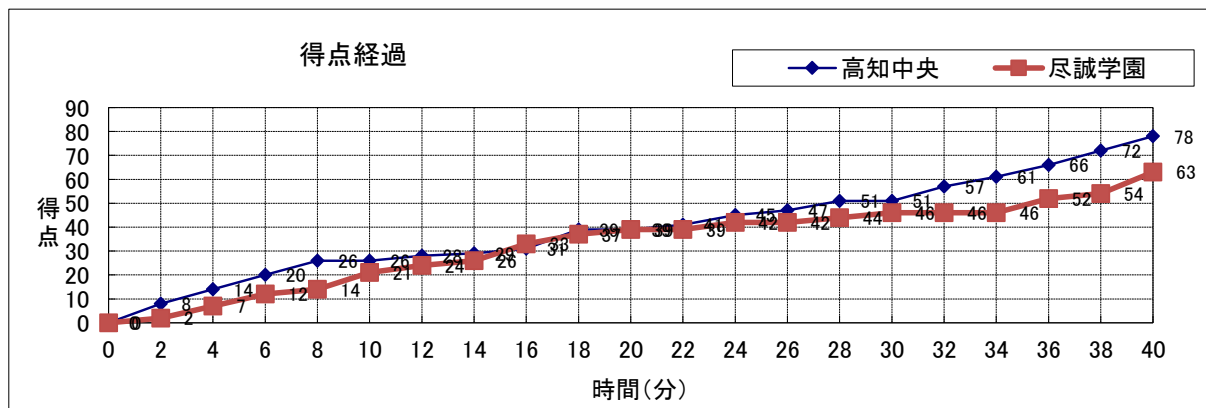
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
5	*	黒山 晃輝	3	0	1	1	5
11	*	戸梶 貴文	9	3	0	0	5
12		林 怜建	—	—	—	—	—
13		松濤 拓真	0	0	0	0	0
14	*	根本 溪巧	9	1	2	2	2
15		藤富 純也	7	1	1	2	0
16		古西 友生	—	—	—	—	—
17		濱崎 大智	0	0	0	0	0
21		松脇 匡秀	—	—	—	—	—
23	*	佐藤 涼真	13	1	5	0	2
25		古賀 翔大	—	—	—	—	—
30		赤木 稜斗	10	3	0	1	1
34		田原 哲也	—	—	—	—	—
35		高村 駿佑	0	0	0	0	1
63	*	加藤 亮	12	0	6	0	0
HC		色摩 拓也 / TEAM					—
		合計	63	9	15	6	16

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド: 尽誠学園はマンツーマンディフェンス、高知中央はゾーンディフェンスでスタート。高知中央#4のバスケットカウントで先制し、その後も#15のゴール下を中心に得点していく。対する尽誠学園は巧みなパスワークで内外バランス良く得点を重ねていく。26-21高知中央リードで終了。
 第2ピリオド: 開始4分で尽誠学園#63のゴール下で逆転に成功するも、高知中央#15のインサイドで再逆転。お互いに長所を出し合い、一進一退の攻防が続く。39-39同点で前半を折り返す。
 第3ピリオド: お互い厳しいディフェンスからなかなか得点が伸びない。高知中央がリバウンドからリズムを掴み、少しずつ点差を広げていく。インサイドで得点を重ねた高知中央が51-46とわずかにリードし、最終ピリオドへ。
 第4ピリオド: 高知中央が#4の速攻などで開始2分で10点差とする。対する尽誠学園は、開始4分間ノーゴール。高知中央#4の3Pなどでさらに点差を広げる。尽誠学園#30の3Pで粘るも78-63で高知中央が2年連続2回目の優勝を手にした。お互い粘り強く、決勝戦にふさわしい白熱した試合だった。

担当者: 西岡 大輔(愛媛県高体連)

四国バスケットボール協会・四国高等学校体育連盟



大会名称: 平成30年度
第26回四国高等学校バスケットボール新人選手権大会

開催場所: 愛媛県総合運動公園体育館 Bコート

試合区分: No. 2 男子 順位決定戦

期 日: 2019(H31)年2月10日(日)

主審: 木村 晃伸

開始時間: 14:00

第1副審: 山下 渉

終了時間: 15:30

第2副審: 上村 公己

新田 (愛媛県)	○ 81	17	—	19	● 66	松山工業 (愛媛県)
		22	—	10		
		23	—	14		
		19	—	23		
		—	—	—		
		—	—	—		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
0		真鍋 歩夢	—	—	—	—	—
1		永山 哉夢	—	—	—	—	—
2	*	栗林 大貴	9	1	2	2	2
7		正岡 侑真	0	0	0	0	0
9		一色 大和	—	—	—	—	—
10		鶴岡 貴浩	—	—	—	—	—
13	*	中川 拓人	13	1	5	0	4
14	*	片岡慎之介	3	0	1	1	1
16		吉田 雄登	21	0	10	1	1
22		平 凌輝	—	—	—	—	—
23	*	岡田 勇輝	4	0	2	0	4
32		水本連太郎	0	0	0	0	1
33		井上 直也	12	2	2	2	2
34		田中 優作	—	—	—	—	—
35	*	上野 大翔	19	0	9	1	1
#N/A		玉井 剛 / TEAM					—
		合計	81	4	31	7	16

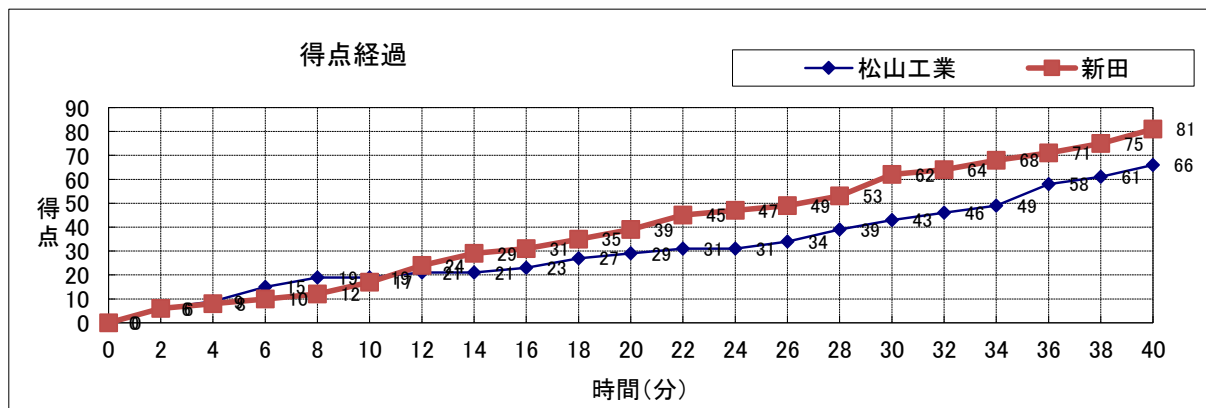
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	川村 宗之	8	0	2	4	1
5	*	横田 海翔	6	0	2	2	4
6	*	岡崎 蓮	4	0	2	0	2
7	*	武内 理貴	33	4	8	5	1
8		永井 敦士	0	0	0	0	0
9		今村 駿介	—	—	—	—	—
10		中江 楽人	0	0	0	0	0
11		森本 翔太	—	—	—	—	—
12		濱田 朋樹	—	—	—	—	—
13		越智 隼平	0	0	0	0	0
14		柳井 一真	4	0	1	2	1
15	*	佐竹 莞多	5	0	1	3	1
16		小森竜太郎	—	—	—	—	—
17		前田 堅	—	—	—	—	—
18		二宮 叶斗	6	0	3	0	1
HC		池松 健彦 / TEAM					—
		合計	66	4	19	16	11

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

男子3位決定戦は新田対松山工業の愛媛県対戦となった。
第1ピリオド、両チームともマンツーマンでスタート。松山工業は#4の鋭いドライブからのシュートや、#7の3Pで得点を重ねる。対する新田は激しいディフェンスの前にシュートが決まらず、なかなか得点できない。タイムアウト後、新田は#35のリバウンドシュートなどで加点し、19-17松山工業リードで終了。
第2ピリオド、新田はゾーンディフェンスに切り替え、#13の3Pで逆転し流れを掴む。さらに#33の3Pや#16のシュートで得点を重ねる。一方、ゾーンを攻めあぐる松山工業はタイムアウトをとり、立て直しを図るが得点が伸びない。29-39と新田が10点リードで前半終了。
第3ピリオド、新田は相手のミスから#23や#16の速攻で勢いに乗る。なんとか食らいつきたい松山工業は#15のインサイドプレーや#7の3Pなどで対抗するが点差は広がり、43-62新田リードで最終ピリオドへ。
第4ピリオド、反撃したい松山工業はゾーンプレスに切り替え、激しくプレッシャーをかけミスを誘う。#7のドライブや#6の速攻で得点を重ねていくが、新田は素早いパス回しから速攻につなげ、反撃の糸口を掴ませない。66-81で新田が勝利し、愛媛県対決を制した。

担当者: 岡田 健佑(愛媛県高体連)

四国バスケットボール協会・四国高等学校体育連盟



大会名称: 平成30年度
第26回四国高等学校バスケットボール新人選手権大会

開催場所: 伊予市民体育館 Cコート

試合区分: No. 3 女子 順位決定戦

期 日: 2019(H31)年2月10日(日)

主審: 武内 克行

開始時間: 14:00

第1副審: 三谷 修司

終了時間: 15:30

第2副審: 池松 和久

<p>济美</p> <p>(愛媛県)</p>	<p>○</p> <p>88</p>	23	—	12	<p>●</p> <p>74</p> <p>聖カタリナ学園</p> <p>(愛媛県)</p>
		30	—	20	
		22	—	21	
		13	—	21	
		—	—	—	
		—	—	—	

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	三原 愛莉	28	2	10	2	1
5		水元こなつ	—	—	—	—	—
6	*	岡崎 芙蓉	9	0	4	1	1
7		秦 優希	—	—	—	—	—
8		上野 歩生	—	—	—	—	—
9	*	田中 莉央	8	0	4	0	2
10		中村 結路	—	—	—	—	—
11		川原 美羽	—	—	—	—	—
12	*	松本みずき	31	3	9	4	2
13		常葉萌々香	—	—	—	—	—
14		高田 稜	—	—	—	—	—
15		山口 愛	—	—	—	—	—
16		加藤 安結	—	—	—	—	—
17		常谷 鯉音	—	—	—	—	—
18	*	三原 梨央	12	1	4	1	2
HC		中川香一郎 / TEAM					—
		合計	88	6	31	8	8

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		池松 美波	—	—	—	—	—
5	*	森 美月	17	1	7	0	2
6	*	小柳 亜結	10	0	5	0	0
7	*	谷 月音	12	1	4	1	2
8	*	中村 理瑚	14	4	1	0	3
9		峯下 琴羽	—	—	—	—	—
10		西村 春佳	4	0	2	0	1
11	*	松岡 歩菜	12	1	4	1	1
12		齋藤 瑚夏	5	1	1	0	4
13		片松 茉優	—	—	—	—	—
14		藤井 花歩	—	—	—	—	—
15		西山 侑里	—	—	—	—	—
16		村上 爽蘭	—	—	—	—	—
HC		後藤 良太 / TEAM					—
		合計	74	8	24	2	13

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタートする。济美はリバウンドを徹底し、#12、#18の速さを生かした攻撃で得点を重ねていく。対する聖カタリナは#6、#11の高さを生かした攻撃で仕掛けるが、シュートがなかなか決まらず、23-12の济美リードで終了する。

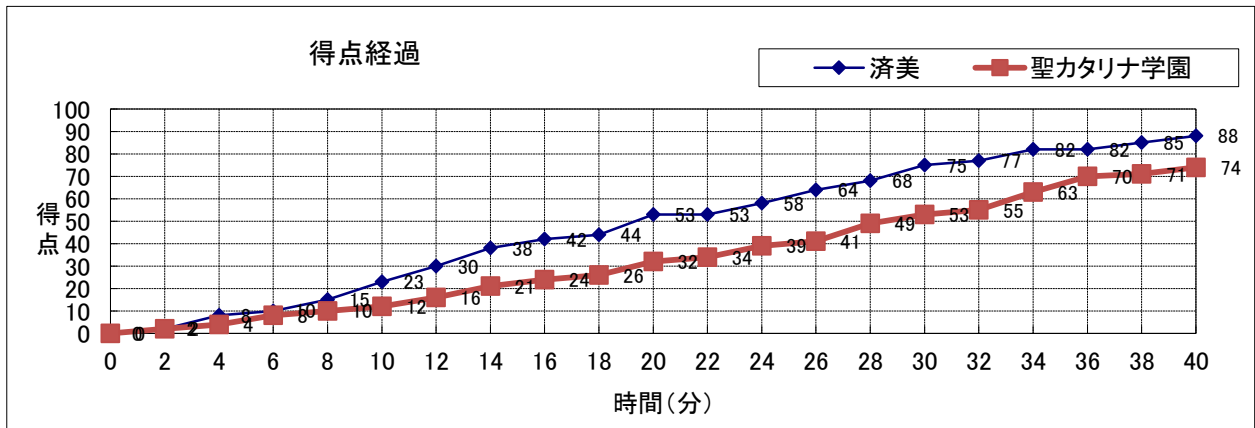
第2ピリオド、勢いに乗った济美は、リバウンドからの早い攻撃で得点を重ね、リードを広げていく。聖カタリナは#7、#8の3Pなどで点差を縮めようと果敢に攻め続けるが、53-32で济美がリードを広げて終了する。

第3ピリオド、点差を縮めたい聖カタリナは、ディフェンスのプレッシャーを強めて、徐々に点差を縮めていく。対する济美は、厳しいディフェンスに対し冷静にパスを繋ぎながら、#4を中心に全員で果敢に攻め続け、75-53で济美リードで終了する。

第4ピリオド、最後まで諦めない聖カタリナはボールへのプレッシャーをさらに激しく、#8、#12の3Pや#5のシュートで点差を縮めていく。しかし、济美は攻守とともにチーム一丸となり最後まで集中力を切らさずにプレイし続け、粘る聖カタリナを振り切り、最終スコア88-74で初優勝を飾った。最後まで緊張感のある大熱戦を戦い抜いた両チームを讃えたい。

担当者: 松浦 正(愛媛県高体連)

四国バスケットボール協会・四国高等学校体育連盟



大会名称: 平成30年度
第26回四国高等学校バスケットボール新人選手権大会

開催場所: 伊予市民体育館 Dコート

試合区分: No. 4 女子 順位決定戦

期 日: 2019(H31)年2月10日(日)

主審: 川人 理恵

開始時間: 14:00

第1副審: 竹内 薫

終了時間: 15:30

第2副審: 山田 佳奈

<h1>高知中央</h1> <p>(高知県)</p>	<p>○</p> <h1>111</h1>	32 — 5	<p>●</p> <h1>79</h1>	<h1>富岡東</h1> <p>(徳島県)</p>
		35 — 24		
		24 — 27		
		20 — 23		
		— —		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		山路 佳奈	8	0	3	2	3
5	*	瀧山あゆう	9	1	3	0	1
6		上村 水桜	-	-	-	-	-
7	*	井上ひかる	11	0	5	1	0
8		宮下 美恋	4	0	2	0	1
9		島崎 里奈	0	0	0	0	2
10	*	合田 琳	8	0	4	0	0
11		山本 葉奈	10	0	5	0	0
12		砂川 琴海	0	0	0	0	1
13		三好 礼紋	4	0	2	0	1
14	*	SALAUDEEN BASIRAT OLUWADAMILOLA	18	0	8	2	4
15		NWOKO MARVELOUS ADAKUUVICTOR	31	0	14	3	0
16	*	大崎 万菜	8	0	4	0	1
17		早川 南美	0	0	0	0	0
18		高田 奈々	-	-	-	-	-
HC		酒井 寛治 / TEAM					-
		合計	111	1	50	8	14

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	井口世里菜	26	0	12	2	1
5	*	守野 優奈	12	0	4	4	1
6	*	清水 美佑	14	0	5	4	2
7		南 瑞希	-	-	-	-	-
8		四宮 怜奈	-	-	-	-	-
9		松下 七海	-	-	-	-	-
10	*	大西 乙華	1	0	0	1	0
11	*	清水 茜	11	3	1	0	3
12		平野 有沙	13	1	4	2	2
13		福永 結	2	0	1	0	0
14		福永 愛	-	-	-	-	-
HC		西田 良裕 / TEAM					-
		合計	79	4	27	13	9

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、高知中央はオールコートマンツーマンディフェンス、富岡東はハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。高知中央高校は#16のドライブイン、#15の長身を生かしたリング下のシュートで得点を重ねる。富岡東は、#5のドライブや#6の積極的なオフェンスリバウンドから攻撃するも、リングに嫌われ加点できない。32-5高知中央がリードで終了。
 第2ピリオド、富岡東は序盤、#12の3Pシュートでリズムを作り、#4の連続ポイントで追い上げを計る。高知中央はバックコートから積極的にボールを奪いに行き速い展開でシュートに持ち込み、さらに点差を広げる。65-29高知中央リードで前半終了。
 第3ピリオド、富岡東は#5のパスカットやインサイドへのダブルチームなど粘り強いディフェンスから得点につなげる。高知中央はシュートに持ち込めない時間帯があったものの#10のドライブインや#14、#16のインサイドプレイを組み合わせリズムを取り戻す。91-56で終了。
 第4ピリオド、高知中央はディフェンスの手を緩めないものの富岡東も果敢に攻め続け一進一退の攻防が続く。前半大量リードをした高知中央が終始落ち着いたゲーム展開をし、111-79で勝利した。

担当者: 松本 照子(愛媛県高体連)

四国バスケットボール協会・四国高等学校体育連盟

